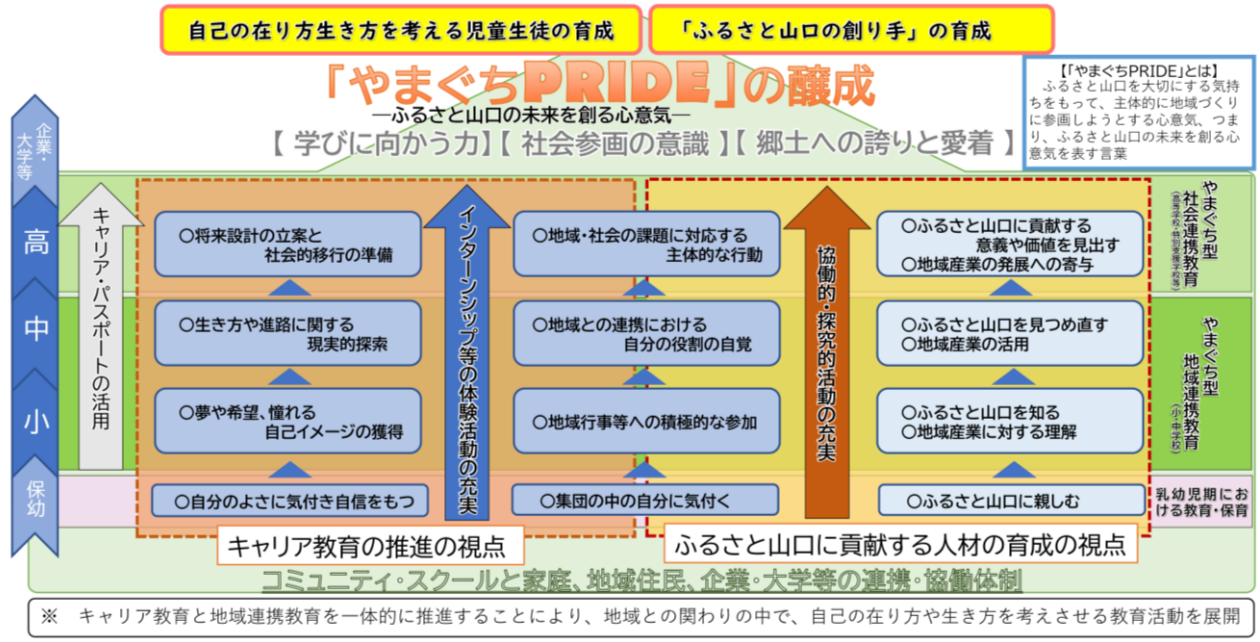


「やまぐち PRIDE」の醸成

少子化の進行や、若者の県外流出により、地域の担い手不足が深刻化する中、郷土への誇りと愛着を一層育み、本県の未来に貢献したいという気持ちを持つ児童生徒を「ふるさと山口の創り手」として育成していくことが、ますます重要となっています。

このため、児童生徒がふるさと山口を大切にする気持ちを持って、主体的に地域づくりに参画しようとする心意気を「やまぐちPRIDE」という合言葉で表し、キャリア教育と地域連携教育を一体的に推進することにより、地域との関わりの中で、自己の在り方や生き方を考えさせる教育活動に取り組みます。



＜「やまぐちPRIDE」の醸成に関連する主な令和8年度事業とKPI＞

	現状値 (R 7)	目標値 (R 10)
■やまぐち創生！「地域の創り手」育成推進事業（地域連携教育推進課）		
山口県学力定着状況確認問題「今住んでいる地域のことが好き」の「当てはまる」の回答割合	小 58.8% 中 43.4%	小 80% 中 80%
山口県学力定着状況確認問題等「将来、今自分が住んでいる地域のために役に立つことをしたいと思う」の肯定的な回答の割合	小 71.8% 中 62.5% 高 — %	小 80% 中 80% 高 80%

「やまぐちPRIDE」の醸成に向け、地域・社会の多様な人々とつながり、協働することを通じて、次代を創る子どもたちのふるさと山口への誇りと愛着を高め、豊かな人生を主体的に切り拓いていく「地域の創り手」を育みます。

■ 子どもが「地域の創り手」プロジェクト

- 子どもが主体的に地域課題の解決に参画し、ふるさと山口の未来に向けた提案を行う取組を促進

[対象モデル中学校区] 7地区×1中学校区

[取組例] 子どもによる「“住み続けたい”まちづくり計画」の策定

ふるさとの伝統文化を生かした子ども主体の地域おこし

■ 高校生等によるやまぐちリブランディング事業

- 高校生等が主体となって、地域の魅力や強みを再発見・再構築し、社会実装をめざす取組を推進

[対 象] 県立高等学校・中等教育学校・特別支援学校（3年間で全ての学校を対象）

[取組例] RESASを活用した地域経済活性化プランの立案

地域資源を活用した新商品開発による持続可能な地域づくり

■ 学校は学びのフィールド推進事業

- 学校をフィールドとした、大人と子どもがつながり、学び合う活動を促進

[対 象] 社会教育団体、社会教育施設等

[取組例] 学校の授業への大人の参加（子どもとともに学び直し）

学校の余裕教室を活用した中学生による高齢者向けSNS講座

■ 「地域連携教育次世代型ネットワーク」構築事業

- 県内各エリアに企業・大学・自治体等と連携・協働するための「地域連携教育プラットフォーム」を構築するとともに、「地域連携教育プラットフォームマネージャー」を配置
- CSチーフ、CSサポーター、地域学校協働活動推進員等に加え、地域連携教育プラットフォームマネージャーが連携した、「地域連携教育次世代型サポートチーム」を設置

■ 「やまぐちPRIDE」創生フォーラム

- 「やまぐちPRIDE」の醸成に向けた取組の成果を共有するとともに、交流を拡大

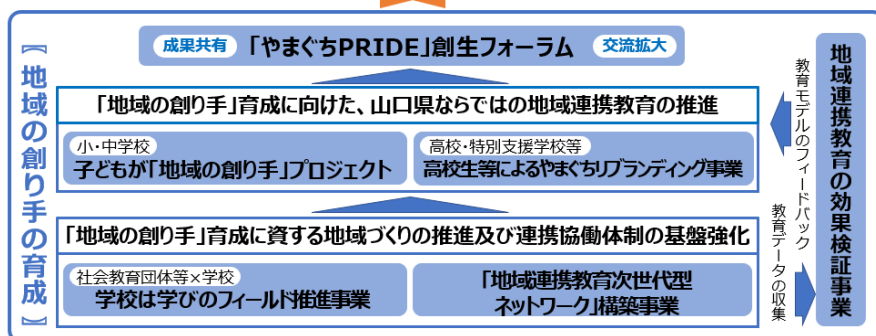
[対 象] 地域住民、児童生徒、教職員、保護者等

[内 容] 児童生徒による取組の成果発表、子どもと大人の交流企画 等

■ 地域連携教育の効果検証事業

- 「やまぐちPRIDE」醸成に向けた地域連携教育の効果を専門家の知見や学術的な考察に基づいて実証的に検証し、新たな地域連携教育のモデルを構築

「やまぐちPRIDE」の醸成



取組の進捗

主な指標	基準値 (計画策定時)	最新値	目標値 (R 9)
地域や社会を良くするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合（公立小・中学校）	小 54.4% 中 46.4% (R 4)	小 64.7% 中 50.5% (R 7)	小 70.0% 中 70.0%
学校運営協議会等において、児童生徒を交えて協議を行うとともに、児童生徒の意見や思いを反映させて、「学校・地域連携カリキュラム」の見直し等を行った学校の割合（公立小・中学校）	小 27.8% 中 51.8% (R 4)	小 47.0% 中 66.0% (R 6)	小 100% 中 100%
学校・家庭・地域が連携して、子どもと地域の大人の協働的な学習活動を計画的・組織的に実施している学校の割合（公立小・中・高・特別支援学校等）	0.6% (R 4)	33.8% (R 7)	80.0%
地域協育ネットコーディネーター養成講座修了者数（累計）	541 人 (R 4)	672 人 (R 7)	800 人